

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年10月20日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104225
法人名	株式会社グロリアコーポレイション
事業所名	グループホームめぐみの丘坂元
所在地	鹿児島市坂元町878番地1 (電話) 099-248-2355
自己評価作成日	平成29年9月21日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成29年10月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

広い敷地の中に平屋の1ユニットのホームです。リビングからは桜島も見え、常に新鮮な空気を吸い、敷地内で採れた野菜・スイカ・レモン等、入居者様と共に喜び味わっております。食材選びや調理にはスタッフ一同気配りして、心をこめて提供しております。ホーム内でのレクリエーションも入居者様はテレビの歌番組・カラオケ等が好きで、スタッフと一緒に歌ったりしています。トランプをしたり、七夕飾りの祭も手書きでお願い事を書かれたりしています。入居者様に寄り添い、尊厳を保ちながら四季折々の行事に全員参加で交流、日々明るく楽しく笑顔で過ごして頂けるよう支援しております。理念の一つである「自立支援」を徹底的に行い、いつまでも元気であり続けるように個別ケアに力を入れ支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 当ホームは、鹿児島市北部の大型団地に隣接する地域に位置している。また、高台にあり桜島を拝するなど眺望もよく、家庭菜園では、すいかやかぼちゃ、四角豆など収穫し料理に活用している。菜園は、入所者や職員、近所の方に協力をいただきながら利用者の参加活動や生きがい作りに一役かっている。
- 町内会に加入し、回覧版を通じて利用者の暮らしぶりを伝えたり、ボランティアを受け入れ、行事への参加を促している。管理者は、町内会の清掃活動や総会への参加、敬老会を通じて日常的に交流している。また、敬老会から七夕の笹の提供、前庭の草払いは地域の方の支援をもらっている。
- ホームの理念・ケア理念は、朝礼で唱和されケア会議で振り返る機会を設けるなど、職員は常に理念を意識したケアに取り組んでいる。
- 年間の行事を計画的に実施し、庭先でお茶会を催したり、春秋の木市や花見、買い物外出、ソーメン流しなど年間を通じて四季を肌で感じられるよう利用者、職員が全員で参加している。
- 管理者や職員は、利用者が本人らしく、また、自己実現に向けて目標が達成できるよう家族との絆を大切しながら共に利用者と暮らす者として、より良い関係作りに努めている。また、管理者は職員が働きやすい職場環境の整備や職員教育にも力を入れ質の確保に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ホーム設立以来理念・ケア理念を揚げ、職員と共有しながら入居者に寄り添いながら、日々生活している	理念は、朝礼で唱和し月1回ケア会議で振り返る機会を設けている。利用者には、常に尊厳をもって接するよう心がけており、言葉使いに注意し寄り添うケアを実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	回覧板等にホーム便りを配布して、ホーム内での入居者様の生活を見てもらいながら交流している	町内会長、民生委員や隣近所の地域の方とは町内の行事活動や野菜などの差し入れを頂戴するなどして日常的に交流している。また、ホーム庭の草払いは町内会の方々が支援して下さっている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	隣人や町内会の掃除やホームの代表が出向いて、会話を通して理解や協力をお願いしたり参加しています		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催の運営推進会議には町内会長はじめ、地域包括支援センター代表の方々と毎回充実した会議を行い、外部からの要望・協力を得てもらう	会議では、ホームの活動状況や行事予定や報告、地域の現状を把握し課題をメンバーで話し合い意見交換をしている。家族の参加を促進していくため、行事内容を工夫したり、入所時に地域密着型サービスであることを十分に説明し理解を求めていく方針である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護保険改正が数年に一度ありますので、市の担当者に問題点・疑問等密に連絡し、相談・指示をあおいで、事業所として取り組んでおります	管理者は市担当者と電話で相談したり推進会議で直接面談しアドバイスや情報収集をするなど協力関係を築いている。また、市から研修会の案内があるので職員が参加しやすいよう配慮している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	委員会を設け定期的に振り返りや、ケア会議等で取り上げ、研修会を開いて入居者様が心地よく過ごしてもらえようケアの向上に努めております	年1回は、研修会を開催し身体拘束の知識を研鑽している。特に、言葉による拘束回避には、力を入れており日々、ケアを実践する上でも職員同士注意し、目配り、気配りなどして、身体拘束することがないように取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	委員会の中で常に取り上げる問題ですが、“命を守る”をモットーにスタッフ一同結束して日々虐待について話し合い、気配りして防止に努めております		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	自立支援事業・成年後見制度について外部研修に参加して学んでおります。ご家族から相談等があった場合、情報の提供・助言、より添い、活用出来るよう支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所される時管理者が十分に説明し、質問を受け理解してもらいます 入居後の不安がないよう納得してもらっています		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	定期的に入居者様のご家族と連絡を行い、色々な質問・疑問等その都度話し合っており、信頼関係を築いております	昨年、職員の対応について家族から意見があり、再発防止に向けて家族には十分な理解と説明をおこない、職員全員で今後の職務体制などについて話し合った。家族との信頼関係がより大切であるとの認識や共通理解を図り、家族との会話の機会を重視し取り組んでいる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ケア会議時に本社からの通達・提案等をオープンに知らせ、それについての意見等を聞き、反映させている 常にコミュニケーションも大切にして、スタッフ同士共有している	管理者は、母体法人からの通達などをケア会議で職員に周知しながら、随時職員と面談し、働きやすい職場環境づくりに努めている。職員から出された意見、提案などはケア会議などで話し合われケアに活かすよう取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	本社と事業所、事業所と職員が不安にならないように報告・連絡・相談を徹底的に行い、各自が向上心を持って働けるよう職場環境に努力しています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	一人ひとりの性格、働き方を把握し、チームワーク作りやより高いケアを望めるよう目標を定め、多くの研修に参加するように促している		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	同業者とは常にネットワークづくりや連絡等で情報交換しております お互いに切磋琢磨しながら質の向上に取り組んでいます		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	まず当ホームを見学して頂き、本人・ご家族の要望に耳を傾けながら、丁寧に説明し、安心して暮らして頂けるよう努力しています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用契約時に資料をよく読んで頂き、本人やご家族の悩み事・不安事・要望等に耳を傾け、契約後も支援継続する旨を伝え、信頼関係を保つように努力します		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、ご家族よりこれまでの生活歴やどういった暮らし方を望んでおられるのかを確認し、必要なサービスの提供ができるように努めています		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人が望んでおられる生活や、これまでの趣味・得意な事を尊重し、野菜作りや家事等を一緒に行っています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	時間や曜日に関係なく自由に面会していただいています 本人に体調変化がある場合などは連絡を細目にとり、安心してもらえるように努めています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自由に面会して頂き、リビングや自室にて談笑出来る雰囲気作りを心がけています	職員は、家族などが面会時にゆっくりと過ごしていただけるよう配慮するとともに日常生活の様子を伝え情報を共有するよう取り組んでいる。また、電話の取次ぎ、礼状などの代筆、自宅訪問など関係性が途絶えることがないよう努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常生活の様々な場面で、その人らしさを尊重した声掛けをしています レクリエーション等、交流の場も作り、自然と笑顔になるような支援に努めています		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去される時にはご家族や退所先にこれまでの様子や心身状態を細かにお伝えし、退所先で安心して暮らしていただけるよう支援に努めています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	生活歴や日常生活での会話や様子・性格などを皆で把握した情報を共有し、ご本人の意向に寄り添えるよう支援しています。困難な場合にはご家族の協力をもらいながら、思いにそえるよう努めています	入所時の基本情報や家族からの情報収集、アセスメントを実施し、本人、家族と面談して思いを把握している。職員は、定期的カンファレンスで本人や家族の意向を話し合いし、担当者会議で共通認識を図っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族・知人などから入所される前の暮らし方等をお聞きし、その人らしさがわかる情報が把握できるよう努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	まずは、毎朝バイタルチェック体調把握を行い、状態確認をしています。体調に変化があれば主治医に連絡し、その都度対応している		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族の思いを確認し、アセスメントを行い、ご本人にとって必要なサービスを取り入れた介護計画を作成しています。職員一人ひとりの意見やその人の見方も大切にしています。計画作成後、毎月モニタリングを行い6ヶ月後には必要があれば介護計画の見直しも行っています	本人の気持ちや思いに寄り添い、日々の生活が本人らしい生活や自己実現に向けて目標を達成できるよう介護計画を作成している。モニタリングは、毎月実施、半年ごとに見直しも含め詳細計画を職員で話し合っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	一人ひとりの介護計画に応じたケアを行い、毎月モニタリングを行っています 毎日の介護日誌や個別の介護記録を記入し、それを共有することで、状態把握をしています 変化があった時はケア会議等で話し合い、見直しています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	面会に来られたご家族が感じた事も大切にしています また関わる職員一人ひとりの感じ方・情報などを把握し、その人にとって何が必要なかを考えながら支援しています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	孤独感や寂しさを感じないようにご家族や町内会の方と連携を取りながら、必要な支援をしています		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回訪問診療を受けている その都度報告を行い、情報共有し、信頼関係も築いており適切な支援が受けられるよう努力しています	隔週の訪問診療を受けて24時間医療が受けられる体制が整っている。また、訪問歯科診療、薬剤師の訪問があり適切な医療が受けられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	必要性のある入居者様の訪問看護師へ日頃の状態を報告し、訪問のない日は対応の方法についての助言を得ている 変化時には訪問看護師と主治医の連絡もある		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院が必要な場合主治医が判断し、入院先との連携がとれている 退院時も入院先の医師・看護師・ご家族と退院後についての話し合いを行い、退院時の付き添いも行なっている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	必要書類については整備ができており、入所前に説明し、同意いただいています 治療方法なく看取りを行う場合は主治医との連携もあり、ご家族の同意も得ています	重度化や看取りの経験はあり、「看取り介護についての同意書」にて同意をいただいているが、具体的な方針などを文書化していない。また、意志確認は、口頭での説明に至っているため今後、文書化していくことを検討している。	本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員など関係機関が連携をとり、重度化や安心して納得した最期が迎えられるように、随時意志を確認しながら取り組むことを期待したい。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時の備えはマニュアルを作成しており、ケア会議において常に討議したり、初期対応訓練を定期的に行い、実践力が身につくよう努めています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年3回の訓練を実施している 火災や災害発生時を昼夜間想定で実施、そのうち1回は消防署立会のもと、篠崎消防設備の方も一緒に実施 スプリングクラーの設置や災害発生時に備えた米・缶詰等、食料や水の備蓄があり、賞味期限を確認している</p>	<p>周辺に坂が多く、幹線道路から入り込んでいる環境であることから、前庭を避難場所にするよう消防署と確認している。地域の協力体制について、再検討し地域の方々に避難訓練を見学や参加をお願いして協力体制を強化したいと考えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの性格やこれまでの習慣に合わせながら支援を行っている。排泄介助は必ずドアを閉め、そっと行っている	年長者として敬い言葉使いには、十分な配慮をしてケアに取り組んでいるが、特に、声のトーンには気をつけ誇りや人格を傷つけることがないようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人が思いや希望を表せるように、理解力に合わせた説明を行い、二者択一によって自己決定できるように支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者さまの得意な事柄を見出し、自尊心を持ちながら過ごせるように、希望を尋ねながら過ごしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入居者さま一人ひとりの体調や気分に合わせて更衣などの援助を行っている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの味覚に合うように季節の野菜や果物を取り入れて、見た目や味も工夫しながら献立・調理している	食事は、旬の食材を取り入れ和洋折衷、四季折々の行事食など織り交ぜながら美味しく調理するというを基本にしている。花見は弁当、ソーメン流し、春秋の木市に出かけ外食を楽しんでいる。また、能力に応じてお手伝いをしてくださる方もおられる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日々の献立摂取量を記録、入居者様の栄養状況を把握し、不足しがちな入居者様には栄養補助食品や経口補水液など水分補給など、足しながら支援を行っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔体操は昼食前、全員に声掛けしながら実施している 食後は義歯の方は洗浄し、他の入居者様は口腔ケアを支援している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレでの排泄を心がけ、排泄チェック表をみて、時間をみながら声掛け・トイレ誘導を行っている	排泄チェック表で個々の排泄のリズムを把握し、トイレにて排泄していただいている。夜間は、睡眠を重視しおむつ使用の方もいるが、本人の意志を確認しトイレ誘導もしている。主治医に、「個人別週間サービス表」を提供し生活状況やバイタル・排泄など全身状態を報告している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	自立で排便できるように水分補給・食事に気を付け、排泄チェック表を見て便秘気味の方は医師の指示で下剤・便を柔らかくする薬等を使用している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入居者様の体調などを考慮して順番を決めている 入浴時は本人が出来るところはお願いして、会話をしながら安全に、楽しいひと時を過ごせるよう努力している	希望があれば入浴したい方から順番に入浴していただいている。週2回程度の入浴を実施しているが、希望や必要性、季節に応じて変更するなど柔軟に取り組んでいる。また、冬場もかけ湯や保温に努め入浴を楽しんでいただいている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は個々の居室や共有スペースで自由に休息をとって頂き、夜間は居室の室温や寝具等・入眠状態の確認を行い、安心して気持ちよく眠れるようにしています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬は一回分づつ個別に名前・日にちが記載されており、誤薬や飲み忘れがないようにしている 服薬内容もいつでも閲覧できるようにしている 症状の変化などを日誌に記載し、常に医師と連携している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の生活歴や趣味などを考え、畑作業・新聞折り、掃除等好きな事を何等か見出し、楽しみながら自分らしく過ごして頂けるよう支援している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	年間の行事を通して、入居者様の希望を取り入れ季節ごとに花見・木市をはじめ、祝い事や誕生会等で外出しています 車椅子の方も一緒に買い物や食事等に参加してもらい、感動・喜びを共有出来るよう支援しています	年間行事表を作成し、計画的に外出を計画・実施している。庭でお茶会を催したり、春・秋の花見、ソーメン流しや買い物といった外出を実施し普段いけない場所にも利用者全員で出かけ外出を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>入居者様本人が欲しいものを外出時、自分で選び菓子類や衣類などを購入しています 外出時歩行が安全にできるよう歩行訓練を実施している</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご自分で家族への連絡を希望される入居者様への電話の取次ぎや季節の便せん等を用意し、利用して頂く</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有の空間は清潔を保ち入居者様の移動しやすく安全が保てるように工夫している レクリエーションで作った作品や外出時の写真などを目に入りやすい所に飾ったり季節の風物等を飾り、楽しんでいる</p>	<p>玄関には、季節の生花が活けられ陽当りの良いリビングは、オープンキッチンである。部屋のコーナーに大型ソファがあり、思い思いに過ごせるよう工夫されている。壁面には、魚のちぎり絵やコスモスなど季節の写真が掲示され季節を感じさせる。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>入居者様個々の個性に合った居場所を作り、利用者様同士で語り合いが出来るようソファを準備し、近くに集合の写真などを飾り、話題の提供など工夫している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や仏具・テレビ愛着のあるものを配置し、ご自宅と同じような環境で生活していただけるよう配慮している	居室は、本人らしい個性的な部屋であるが、職員は本人と話し合いながら清掃や片付けを実施し、居心地のよい居住空間で生活していただけるよう配慮している。利用者の身体機能や移動方法に応じてベットや家具の配置を工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全に過ごせるように動線を考えた家具の配置をしている。居室入り口やリビングのテーブルには名前や番号を貼り、目で見えて確認できるようにしている		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない